



TITLE:

和歌山県内之浦干潟の2種の二枚貝

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県内之浦干潟の2種の二枚貝. 本覺寺杼貝 2017, 82: 31-32

ISSUE DATE:

2017-09-21

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/227297>

RIGHT:

本 攪 寺 杼 貝 (82), 2017

和歌山県内之浦干潟の2種の二枚貝

久保田 信

Shin Kubota: Two species of bivalves from Uchinoura
mud flat in Wakayama Prefecture, Japan

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

和歌山県の内之浦干潟 ($33^{\circ} 42' N$, $135^{\circ} 20' E$) において、毎年のように生物相の調査を実施しているが、今回、2017年7月23日に採集した2種の二枚貝について特に記録しておく(図1)。その1種はスダレハマグリで、殻長43 mmで、唯1個体の生体が干潮時に干潟の入口付近の表面に転がっていた(図1, 右)。これは2011年以来継続して、毎年 of 生体の生息を確認している(久保田・小山, 2012)。もう一種は比較的大きなオオノガイの死貝殻(図1, 左)で、少なくとも殻長101 mmあり、これまで本地点で採集できた中で最大個体であった。

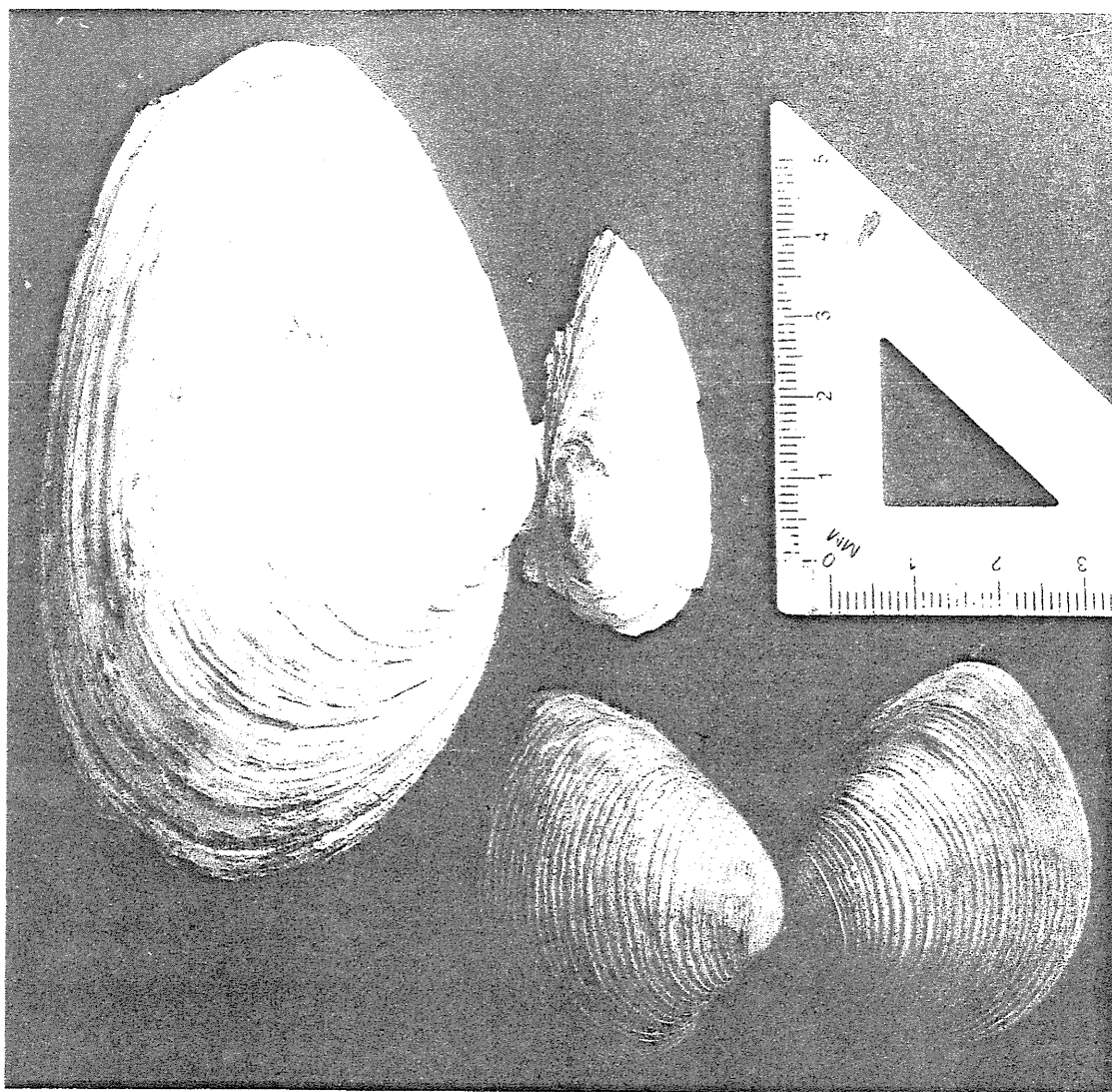


図 1.和歌山県内之浦干潟で 2017 年 7 月 23 日に採集したスダレハマグリ(右)とオオノガイ(左)の貝殻.

引用文献

- 久保田信・小山安生. 2012. 和歌山県で発見された稀少種
スダレハマグリ(二枚貝綱: マルスダレガイ科).
Molluscan Diversity, 3(2): 92-94.